



# 透 析



腎臓病が進行すると、腎臓の働きが悪くなり血液をうまくろ過できなくなる。働けなくなった腎臓の代わりに、血液の中から身体に不要な成分を取り除く治療が必要となる。その治療法として「透析」と「腎移植」があります。今回は「透析」について掲載します。

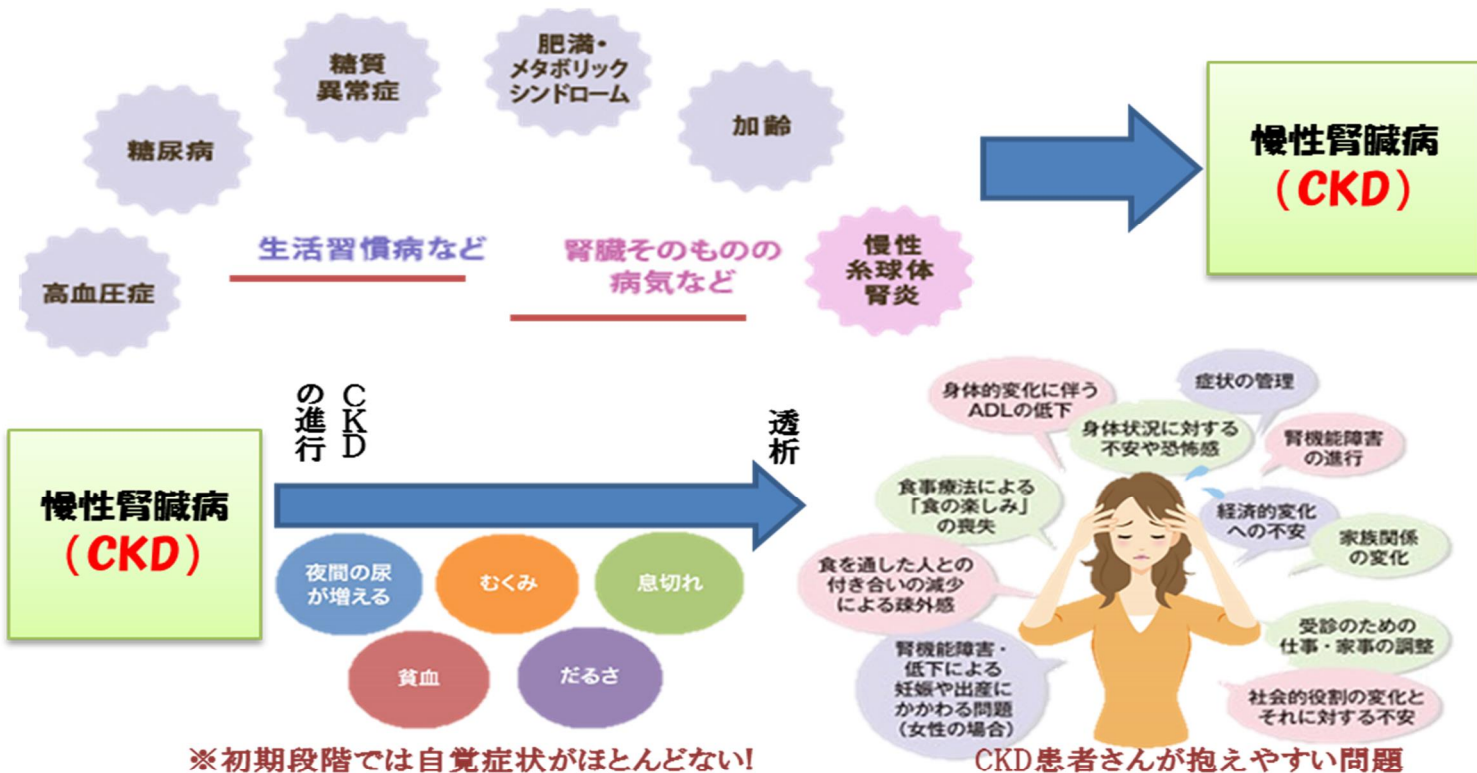
慢性腎臓病 (CKD) 患者さんは、日本国内に1,330万人 (成人の8人に1人) いるとされ、新たな国民病と言われています。

## では! 腎臓病の原因となる疾患とは?

腎臓は、常に多量の血液が流れ込んでいるため、血液や血管の状態に影響を受けやすい臓器。血管や血流に障害をきたす病気になると、腎臓の機能が低下し腎臓病を発症しやすくなるのです。

その代表的なものが「糖尿病」と「高血圧」。

糖尿病では細かい血管の障害、高血圧では動脈硬化が起こりやすく、どちらも腎臓病の原因! そして、どちらも生活習慣や食生活が起因します! (特に食生活では、タンパク質と塩分の摂り過ぎによる腎臓への負担増!!) ※糖尿については、過去の健康アドバイス「2018.1月糖尿」をご覧ください。



※初期段階では自覚症状がほとんどない!



働きが不十分な腎不全になると、尿毒症という病気になるんです!



腎臓での血液浄化が不十分だと、命をつなぐため人工的に浄化をおこない尿毒症の原因を取り除く治療法が「透析」なんだ!

尿毒症は、尿が出にくくなり、血圧が上がったり息苦しくなったり症状や、倦怠感や食欲不振、悪心、嘔吐、頭痛といった症状が出現し、重症の場合は、全身けいれんなど危険な症状が現れることもある。  
(その他の症状:イライラ、体がだるい、集中力がない、むくむ、めまいなど)

透析には、「血液透析」と「腹膜透析」がある。  
血液透析・1~2日おきに通院し、4~5時間かけて腎臓の代わりに機械で血液をきれいにします。  
腹膜透析・自宅で1日に3~4回患者さんのおなかの膜を使う透析。通院は、月に1~2回。